

模擬評価用の解答 A

（クリティカルシンキングが優れた学生の解答）

（1）E 氏への回答

「つらいですね」などの共感的気持ちを伝える。E 氏は言葉や表情からインスリン注射に否定的感情があるが、緊急入院であるうえに、糖尿病と診断されて、即インスリン注射をすることになったため、E 氏の心の負担になっていると考えられる。このため、まずは、共感的態度を示すことが重要と考える。

（2）必要と考える情報

糖尿病と診断されたばかりであり、受容が不十分であるが自然な感情であると考え。否定的感情は、糖尿病やインスリン注射に関する知識不足に関連すると思われるため、E 氏が、現在、糖尿病やインスリン注射に関してどのように理解しているかの情報が必要である。ゴードンの 11 の帰納的健康パターンの枠組みを用いて情報を整理していく。E 氏のこの状況の場合は、健康知覚・健康管理パターン、自己知覚・自己概念パターン、栄養 - 代謝パターンの情報が優先されると考える。

血圧は高めではあるが安定している。血糖値は変動が大きい。食事量や食欲、排せつ、口渇、睡眠、倦怠感、手足のしびれ、ふらつき感の有無に関する情報が必要。

入院時のグリコヘモグロビン（HbA1c）はかなり高値であり、食事指導が必要。入院前の食生活（食事の時間、量、内容）の他、普段の食事は誰がつくるのかなど家族内の役割の情報収集も必要。

（3）最も優先的に解決すべき問題

糖尿病の受容ができておらず、インスリン注射に否定的な感情があるので、本日から自己注射は E 氏の精神的負担が増強する危険性がある。

このため、自己注射予定が E 氏本人に伝えてあるのかを確認し、自己注射開始時期について医師と再度検討する必要があると考える。

まずは、血糖値の安定を図るため看護師によるインシュリン注射を実施しながら、E 氏が糖尿病やインスリン注射に関する正しい知識を得て、病気を受容し、治療に前向きになることが重要である。